

# こうげい

都立工芸同窓会会報 No.180

2022年（令和4年）10月12日 発行

## 秋

Autumn, 2022

### 投稿を歓迎します

- 皆様のお仕事などでの成果、創作、社会貢献など、ご活躍のご様子をぜひお知らせください。
- クラス会の様子もお知らせください。

郵送先 都立工芸同窓会

（住所は工芸高等学校と同じで、最終ページにあります。）



またはホームページのお問い合わせよりご投稿ください。



統括校長 池上 信幸

### 「こうげい」発行に寄せて

皆様こんにちは。校長の池上信幸です。日頃、同窓会の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、深く感謝いたします。また、本年5月に同窓会総

会を迎えられ、新たに梶様を会長とした新たな体制でのスタートを切られたことに、心からお慶び申し上げます。コロナ禍における難しいかじ取りをされ、本校の教育活動を積極的にご支援いただいた大賀前会長はじめ会員の皆様のご厚情に重ねて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

都立工芸高校を取り巻く状況ですが、東京都教育委員会は、都立の工業高校改革について、今年2月に発表を行いました。具体的には、情報ネットワーク社会に対応した新しい工業技術者の育成を加速させ、これからの産業社会で活躍できる人材を輩出することを狙いとしたものです。

当然、工芸高校もこの改革の対象校として取組を進めていくこととなります。また、全校ではありませんが、専門学科の改編や新たな学科への変更といった取組を進める高校もありますが、工芸高校の既存の五つの学科は全日制及び定時制とも対象となっています。さらに、工業高校の生徒募集対策として、校名が工業高校となっている15校の都立工業高校は全て、2023年度より工科高校へと校名を変更することとなりました。当初、全ての工業高校を対象として校名変更の議論がスタートしたこともあり、工芸高校についても検討されましたが、校名変更の必要性はないと認められ対象とはなりませんでした。

戦後、工業高校の改革は何度か行われましたが、工芸高校は行政主導の改革・学科改編等の対象校となったことはなく、昭和・平成の時代には学科名を現在のものに改め、常に時代の変化を読み取り、自ら改革を行ってきました。しかし、それは、各学科の本質的な価値を残すための改革であったように思います。何をもつて本質とするのかは、難しい問題ですが、連続的に今につながっていることは確かです。DNAは継承されているのだと思います。東京都の工業高校改革が始まりましたが、不易なるものを柱として、工芸高校の伝統や文化を継承しつつ、工芸高校を少しでも前進をさせて次の時代へとバトンを渡す。これが、私たちの役割と認識しています。同窓会の皆様には、引き続き後輩たちへ激励をいただくとともに、本校の教育活動にご支援とご協力をいただくと幸いです。今後とも宜しくお願いたします。

### 2022年度 総会開催報告

5月21日（土）午後1時より3年ぶりとなる「都立工芸同窓会2022年度総会」が、コロナ感染症拡大防止対策を施し母校1階視聴覚室で開催されました。総会に先立ち、福田哲夫氏（1967年・D卒）による記念講演「新幹線のつくり方を変えたデザイン」都立工芸に学び助けられた半世紀」が開催されました。

講演で福田氏は、工芸高等学校時代の厳しい授業の有様の紹介から始まり、その経験がデザインに大きく役立ったとお話しされました。独立後のレンダリングやイラストレーション作品紹介、新幹線のデザインのまさに「新幹線のつくり方を変えたデザイン」の具体的な事例紹介をいただき大変素晴らしい90分の講演を頂きました。

（休憩を挟み「総会」を開催）  
総会次第  
一、開会の辞

- 二、会長挨拶 大賀勉 氏
- 三、来賓代表挨拶 東京都立工芸高等学校  
統括校長 池上信幸 先生
- 四、2021年度会計報告 事務局
- 五、会則変更の件 大賀勉 氏
- 六、新役員承認 2022・23年度役員
- 七、新会長挨拶 梶広幸 氏
- 八、2022年度予算案承認 事務局
- 九、閉会の辞

全ての議案が承認され、午後3時20分に閉会いたしました。

《記念講演参加者》

ご招待10名・同窓会員68名・総計78名  
《総会参加者》

ご来賓4名・同窓会員68名・総計72名



記念講演と総会の様子

## 2022年度総会 記念講演に参加して

記念講演を拝聴して

上口 睦人(1957年D卒)

去る5月21日都立工芸同窓会総会に出席しました。この総会に強く私を誘ったのは、福田氏の記念講演「新幹線のつくり方を変えた「デザイン」でした。

福田氏は私と同じデザイン科の10期後輩ですが、かねてより新幹線をデザインした後輩がD科にいると聞き及んでおりました。私は都立工芸を卒業後、新潮社に入りグラフィックデザイン界を歩んで来ましたので、工業デザイン界には明るくないのですが、新幹線をデザインした後輩がいると言う噂は何故か、我が事のように誇りに思っておりました。

そこで福田氏の生のデザイン話しか聞けるとあって、当日は逸る気持ちを押しさえながら、我が工芸校舎に向かいました。講演の内容は少年時代からの生い立ちに始まり、都立工芸時代の課題の多さに追われ、徹夜を迫られた思い出話など聴講する私にとっても、工芸高校時代を彷彿とさせる懐かしい思い出でした。そうした講演の中で、私が瞠目したのは、福田氏がアメリカのデザイナー、レイモンド・ローウィの『口紅から機関車まで』に準え、ご自分のライフワークを「指

輪から新幹線まで」と紹介した事でした。レイモンド・ローウィはグラフィックデザイナーでありながら、冷蔵庫や機関車までデザインした、工業デザイナーとして知られています。その著書の『口紅から機関車まで』は翻訳され、日本の若きデザイナーたちのバイブルとされておりました。

福田氏もその著書を読み、自らのデザインワークで、それを超越するかの様に新幹線をデザインした講演には聴講して胸のすく思いでした。

講演も終盤に入ると、新幹線をデザインするコンセプトに触れてきました。

福田氏はそれを感性領域のテーマとして「風・音・光」と説きました。またデザインは知識から知恵によって結実すると説きました。講演が終わると、私は福田氏に駆け寄り名刺の交換をして講演の感動を伝え、ますますの活躍にエールを送りました。

その後、総会の年次報告があり閉会となりました。講演会の余韻が覚めやらぬ私は、一日も早くN700に乗ろうと考えておりました。私は静岡の造園デザイン会社に仕事があり、月に一度は新幹線に出掛けます。今までは乗客の一人でしたが、これからは福田氏の感性領域のテーマにあった「風・音・光」に触れながらN700の旅を楽しみたいと思いつつ家路につきましました。

ホームページを改定し  
半年経過いたしました(現状の報告)

今年3月19日にホームページの改訂を実施し半年が経過いたしました。会員の皆様から情報の提供や投稿を継続的に頂くことができ一週間毎に記事アップができ9月末迄で合計28件の記事掲載となりました。また、この半年に新たに約1、400名の方にホームページを閲覧していただき、一回の訪問で約4ページを観て頂いております。会員の皆様からの情報提供や、投稿による記事のホームページへの掲載、ホームページ記事の「こづい」への掲載、ツイッターによる「記事アップの紹介」など各媒体の連携が進みつつあります。

会費納入と寄付機能の拡充

ホームページの新たな機能としてクレジットカードによる会費納入と寄付が出来るように成りました。9月までにホームページから会費納入と寄付を頂いた方は16名になります。大変有難うございます。左記のQRコードからアクセスできます。

上 会費納入ページQRコード

下 ツイッターページQRコード



1903年の東京府議会で工芸学校設立は議題に上ったが、1904～1905年の日露戦争で棚上げされていた。戦争後、一流商店が並んでいた銀座通りでは、そのウインドウにある金細工をはじめとしたアクセサリ類は舶来品ばかりであった。

## 110年を超える歩み もっと知りたい都立工芸の歴史

第4回

### 東京府立工芸学校誕生 金属細工科・精密機械科

#### ○手島精一と渋沢栄一の後押し

東京高等工業学校(現東京工業大学)初代校長であった手島精一は国産品製造の職工の育成に熱心であり、「工業教育はようやく始まったが『工芸教育』は未だ学校がなく、まず都市に設置すべき」と主張した。東京府はこれに力を得て、先に流れた工芸学校設置案を復活させる。設立委員会の委員長は実業界で工業教育奨励の旗を振っていた渋沢栄一であった。こうして1907年5月10日、本科4年制、選科2年制の金属細工科、精密機械科からなる東京府立工芸学校が誕生した。

#### ○金属工芸のすべてに取り組み

##### 金属細工科(現アートクラフト科)

工芸品や小型機械製造の近代化の遅れを取り戻し、その製造技術者を育成する使命が本校にはあった。そこで、西洋の機械を用いて精巧な工芸品をつくるあらゆる技法を教えようというのが一般工業学校とは異なる工芸学校の金属細工科であった。その幅広い実習内容は、金銀工・板金工・鍍金工3分科、および選科の鍍金

工などで、大正初期の学校案内に掲載されていた。

創立初代校長を務めた山本正三郎と教師の山本若次郎は東京美術学校彫金科、鍍金科第1回卒業生であり、岡倉天心の弟子。ともに日本美術院創立時の金工の実技担当であった。



金属細工科 | 板金工場

#### ○「精密」の二文字に誇りを込めた

##### 精密機械科(現マシニングクラフト科)

金属細工科は伝統工芸品の技術の上に新たな西洋のデザインや近代的機械を導入し、内需・外需に応じた技術者を育てる目標があった。これに対して、小型精密機械を扱う技術者を育てようとしたのが精密機械科である。これまでの日本にはない機械で、これまでになかったような物、例えばタイプライター、バルブ、ゲージなどをつくる、そこが金属細工科とは異なっていた。工芸学校の一分科ではあったが、工芸品をつくるのではなく近代産業、および生活の近代化における必需品を製造する技術を教えた。したがって、社会からもっとも急務な人材として卒業後の進路が約束されていた。このため、東京府内

の中等学校の中でもっとも競争率の高い学校の一つであった(大正5年では10倍)。今景彦初代校長が精密機械科と「精密」の二文字を付けたところがネーミングのミソであった。機械産業界は常に精密を目指すものであるし、その二文字によって生徒は他とは違う時代の先端を行くものというプライドを得て、作業そのものも緻密に行う姿勢を自然に持つからである。

伊東久江(1985年F卒)

参考文献/図版出典『都立工芸100年の歩み』



精密機械科 | 仕上工場

**技術資料の制作**

- 取扱説明書
- マニュアル
- 翻訳
- テクニカルイラストレーション
- 3D
- 音楽
- 通販

有限会社 ステーション・エム  
代表取締役 細江 邦雄(M41)

本社 〒162-0828 東京都新宿区袋町25細江ビル  
電話 03-6280-8455 FAX 03-6280-8456  
http://www.station-m.co.jp/ e-mail: hosoe@station-m.co.jp

PLANNING CENTER  
**STATION.M**  
有限会社ステーション・エム

- Instruction manual
- Service Manual
- Translation
- Technical Illustration
- 3D
- Music
- Mail-order selling

# 中京工芸会だより

下山田前会長を偲んで

中京工芸会前会長の下山田信一郎様(1948・M卒)が3月3日心不全にて亡くなりました(享年91才)。長い期間中京工芸会にご尽力頂きました。在りし日の思いを振り返り、哀悼の意を表します。

下山田大先輩と私の出会いは、昭和38年の中京工芸会創立総会の時でした。当時は、一回りも違う大先輩と22才の若輩、お話し出来る状況ではなかった様に記憶しています。その後昭和54年より、会長・副会長・会長を40年間務めて頂きました。その頃から二人三脚で「中京工芸会の灯を消してはいけない」を合言葉にしてのあつという間の40年間でした。創立以来コロナ禍で途切れる迄、1回も欠かさず56回迄、続けられたことは、素晴らしいことでした。第一に思い浮かぶのが、嬉しそうにお酒を飲まれる仕事は、忘れることが出来ません。亡くなったことが嘘のようです。大先輩との最後の3年間は「関西工芸会」との交流会で、京



在りし日の下山田前会長

都・大阪・神戸へと御一緒させて頂きました。私的のこゝを含めて思い出は沢山有りますが、心の内に留めさせて頂きます。

中京工芸会会長 五反田 稔(1960年・M卒)

## 関西工芸会だより

この度の記事を書いている7月下旬、国内ではコロナ感染第7波が猛威を奮っており、6月末迄は1日あたりの感染者数が日に日に減少し、このまま収束に向かい今年こそは関西工芸会の集いを開催できるのではないかと期待に胸膨らませた私ですが期待は外れました。

現状を鑑みて丸山会長と協議をし、本年度の関西工芸会の集いは安心して集う事が出来ないかと判断し中止とさせて頂きます。開催を楽しみに待っていてくださった関西工芸会の皆様、また1年元気に待っていてください！年内に関西工芸会の皆様には今年こそお便りを送りますので返信ハガキも同封いたします。元氣な報告を沢山頂ける事を待っております！

関西工芸会と同じくらい歴史が深く、京地域にて工芸同窓の絆を長年に渡り繋げ尽力してこられた中京工芸会下山田名誉会長の訃報をこの度知りました。

コロナ禍以前は愛知県より関西工芸会の集いに参加していただき、大先輩の偉大な背中を見て私も関西工芸会の歴史をしつかり繋げていこうと決心しました。

関西工芸会を代表して下山田名誉会長の御冥福をお祈りいたします。

関西工芸会事務局 松田 健(2001年・A卒)

## 私のボランティアとワークライフバランス

山内 勲(1962年・M卒)

電気メーカーに勤めていた35歳の頃独立を考え、資格を取るため経営学の通信制大学へ入学しました。必修のスクーリングや単位取得試験は大学や指定会場へ行くなど仕事と学習の両立は苦労しましたが家族の協力があり4年間で卒業。その後間もなく宅地建物取引主任者に合格、住宅会社の営業へ転職しました。

この職場では顧客とのコミュニケーションスキルを磨き住宅の構造や内装仕様を研修で学びメンテナンス技術を習得。43歳の時千葉県東金市に縁があつて家を建て、大手住宅会社の下請け業で独立。仕事の合間には東金市長より委嘱された民生児童



八鶴湖(はちかくこ)の花植え活動  
右端が山内さん

委員、街づくり推進委員、地元の区長、不法投棄監視員など重複しないように勤めました。ボランティアでは千葉県地球温暖化防止推進委員、社会福祉協議会の広報委員に所属しグループの協働により環境活動や福祉活動など30年間ほど続けました。

現在は街の美化グループ代表として公園の草刈りや花植えを行っています。公職では東金市選挙委員会の委員長を4年任期で勤めております。仕事は公職選挙法を遵守するための啓発活動、立候補者の登録業務、投票と開票の管理、執行の立会です。責任は重大ですが自分の志しの行動なので苦労とは思いません。

M科を卒業して60年になりますが分野が異なる住宅営繕と社会貢献のワークライフバランスは私の生きがいになっています。

## 校友の活躍

### 姜英里さん 2021年度 グッドデザイン賞受賞

姜英里さん(2014年・M卒)

姜さんはM科を卒業後多摩美術大学に入学、生産デザイン学科でプロダクトデザインを専攻。卒業後は株式会社河合楽器製作所に就職、主に楽器を中心とした商品企画とプロダクトデザインに従事しています。トイピアノは玩具として強調され



# 校友の活躍

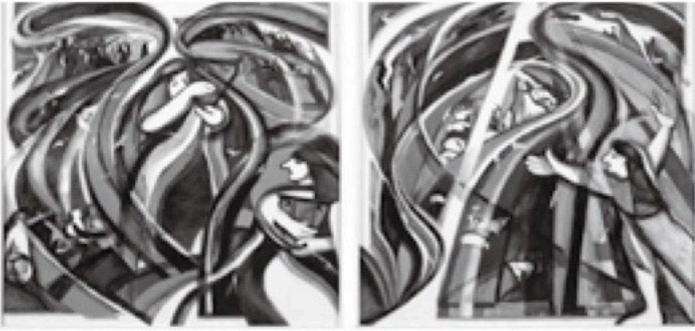
個展『桂盛仁展ー命の輝きを謳うー』(帝国ホテルプラザ2階(間あわい))

桂盛仁氏(1963年・A卒)

2022年6月1日(水)〜7月3日(日)



96th 国展(六本木 国立新美術館)  
安富信也氏(1956年・D卒) 出展



安富信也氏『詩篇』

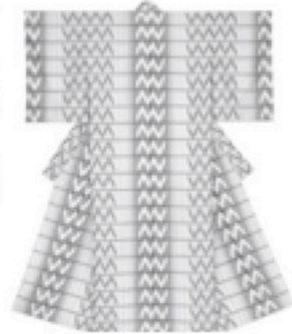
第62回東日本伝統工芸展(日本橋三越本店)

同展に校友4名の作品が展示されました。

## ■染織部門

鈴木ゆき子氏(1974年・D卒)

紺織着物『紅梅/白梅』



松原伸生氏(1984年・D卒)

長板中形着尺『竹文』



## ■金工部門

大沼千尋氏

(1970年・A卒)

切嵌花器『緑の連山』



■木竹工部門

須田賢司氏

(1973年・F卒)

拭漆櫛の小箱



## 個展

中谷先生の個展『中谷隆夫のふだん使  
いの陶器』が開催されました。

日時:2022年6月23日(木)〜28日(火)

会場:調布市深大寺「曼珠苑」

中谷隆夫氏 D科元教員(1970年〜

2000年)

佐藤ジヨアナ玲子氏(2015年・A卒)  
第7回「斎藤茂太賞」を受賞

私の大切な母校、工芸高校にちなんで、  
というワケではないのですが、この川下  
りの旅を通して気がついたことの二つは、  
船で長旅をする人たちの物作りへの素養  
の深さです。

カヤックを自分で作る人もいるし、手  
漕ぎの舟の漁師さんのパドルも手作りだっ  
たりします。ここ数日は、港で知り合っ  
たヨットの人と一緒に旅をしているので  
が、実際に船を走らせるよりも長い時間  
メンテナンスで手を動かしています。

彼らの仕事は、大工さんと彫刻屋さん。  
旅をしていない時に、ポロポロの家を安  
く買って自分で直して賃貸したり、受  
注生産の大きな彫刻を作ったりしている。  
ものづくりも舟旅も自由で、国境を超え  
た文化的に豊かな生き方を見せてくれる。  
そういう意味で、どこか共通の精神性が  
あるのです。

ぜひ、カヤックにも興味を持っていた  
だけたら嬉しいです!



『ホームレス女子大生川を下る』  
報知新聞社 2021年

# 「A科OB・OG展示始まる」

8月8日より来年2月初旬までの半年  
間、母校OB・OG展示ギャラリーにて  
A科の展示を行います。

出展は、S42井上賢さん・S56山下裕  
治さん・S61塩田廣江さん・H8久光  
美緒さん・H16坂口千尋さん・H17佐藤  
充俊さん・H21石下雅斗さん・H22伊東  
沙百合さん、氏家美佐さん、内藤彩さん、  
関口和希さん、中村桃子さん・H23伊佐  
奈都美さん、長島雪乃さん・H25小林修  
平さん・H27佐藤ジヨアナ玲子さん、外  
山奏瑠さん・H28安田翔哉さんです。  
是非ご高覧ください。



1階 卒業生作品展示ギャラリー 展示風景

# 事務局より

一般寄附ご芳名

本年3月1日以降7月22日まで、「ご芳志をお寄せいただいた方々は次のとおりです。ごつもありがとうございました。」

(順不同、敬称略)

今井昭司、小泉久吉、松村晃子、中代源次郎、菅藤剛、田口寿恒、森田清、布施達也、大野武夫、笠井伸枝、鈴木陽子、大塚晃啓、平野義久、馬場和夫、関根伸司、西多玲奈、田辺廣、山田栄一、蓮田博、鈴木幸男、藤井喜代子、木村ふみ子、板垣秋司、鈴木万里子、小林博、茂野勝、栃木靖男、宮崎忠夫、安室典忠、林秀雄、日置雄毅、時田桂代、成田真一郎、高木家守子、高木実、間中辰男、遠藤成則、荒井拓哉、鍋島節子、石原義久、徐博宇、齊藤誠、桑原幸雄、横山一雄、中島一光、鈴木理継、三浦保之、山崎邦男、石毛多喜男、若松延男、渡部なお、鈴木良和、石原義久、伊藤早苗、西田耕一郎、川上三恵子、五十嵐賢治、斎藤彩樹、斎藤恒平、伊藤早苗、関宏一、山内勲、田島悌彦、笹沼健一、久保木秋徳、久保木聖子、根本英明、甲賀真人、松本七五三吉、鯉沼誠司、今井昭司、矢吹郁雄、春山忠雄、浅岡輝彦、羽切美代子、浦野至誠、井上賢、林哲三、櫻井久喜、浦野至誠、服部一、中村保弘、鹿野伸子、辻丸佳代子、松井辰弘、杉山哲三、萩原勝美、横田修光、丸山士郎、井上正治、MMM会、井上伸行、山口治夫、岩崎龍一、篠崎崎夫、井野上一寿、友光勝、櫻井敏之、橋正春、原典生、岩井昌代、五反田稔、内山孝、佐藤幸夫、黒田次郎、井上京子、柳北勲、宇津木俊徳、小川千秋、堀越敏晴、山田敏雄、斎藤文一、山木知二、青山龍雄、湯沢宋江、安富信也、数野博久、石川孝史、井部早苗、成本徹、小林朗、原田俊夫、松井重欣、山田肯佑、帆足宗二郎、谷道和博、赤坂忠男、大山栄一、嶋村邦昌、大野礼奈、天津永二、渡辺隆司、中村真、猪俣新治、高橋裕次郎、菊地道夫、小宮茂、小野達哉、松井眞矢、三田村幸治、松田正己、尾高好夫、菅香世子、大場康博、津久井弘光、春山文典、神山隆夫、大洞

健史、杉原由美子、倉田淳也、安原敏郎、齊藤太郎、浅井将治、高田宏樹、宮崎忠夫、刀根理佳、市原博信、長澤作夫、佐藤守克、串田恭男、金子満、南部昌宏、宮森隆志、戸津圭之介、戸原正之、永妻盛治、山崎邦夫、升谷和久、菅野登、野島進、山口博幸、秋信真知子、生貝文人、福田とも枝、阿部達夫、矢島政幸、長井豊、松岡道夫、野永由美、服部真澄、能登崇行、五十嵐智則、徳宮陽子、松原美穂、阿部忍、佐久間悠太、石井あづみ、野村敬子、宇井維久美、小川光、中嶋芽子、諏訪智恵子、野中寛奈、田中収蔵、山田実、加藤勝久、井上真介、岡村行康、高橋正文、遠藤紬生、杉本良三、藤原高遠、田中秀、加藤泰弘、平光和人、南繁三郎、早川勝、高橋孝雄、飯島鏡、太田公平、中野信道、塩崎恵一、清水旭、堀田喬夫、津田友政、矢ヶ崎敏和、高橋健、尾崎光雄、伊藤哉、渡辺昇平、堀井輝和、井戸健輔、山林愛美、明治佳保里、久保田裕之、萩原明、河田弘吉、亀井格一、長澤政治、池野赫夫、筒井健郎、恒成芳郎、大川浩一、桐淵典記、古澤貞男、中村一夫、北村忠之、福田友美、萬羽進、森谷延周、澤田泰雄、坂巻謙一、田口洋夫、飯沼勲、宇都木邦明、田中達夫、飯田眞実、柴藤竹夫、寺田久子、石川時彦、地主広明、櫻田幸代、沢崎孝子、高塩廣之、小林重行、怡土昌子、村上由香子、長尾清美、伊藤聖樹、星川輝成、山下泰宏、村奈嘉義雄、芳賀昭正、秋山憲司、渡辺昭順、西田三郎、大井正五、橋本恵光、所和男、池田博、萬澤佐多子、片岡良亮、大井三喜男、森田七星、小平確、茂木益雄、小早川亨、小宮滋、新村富雄、伊達崎健治、穴吹昭勝、矢島三男、山田寿美、向園唯久、大平勝哉、小田治郎、山内勇、吉野香恵、峰万佐子、矢野利明、植野弘一、櫻井明子、渡部トキエ、朝倉みよ、糸川富子、稲垣博、紅林正司、橋場信男、大林眞理子、三日月市康男、野藤和子、宇田川政和、大野早苗、永井裕明、村上千晴、森下理恵、久保いずみ、岡野匡晋、岡野花恵、仲波由美、長谷川栄、石川進造、斎藤慧、大橋新介、小佐々憲、杉本勉、杉山昌光、木下晴雄、中澤泰男、柿坪英志郎、齋藤シツエ、石井三樹郎、今井定義、前田竹明、三橋宏之、地濃正明、磯野祥、松田健、竹村郁香、佐藤充俊、伊藤珠生、福田佳代、石川東吾、小林久典、池田正弘、都筑文、野本能義、松永孟、丹

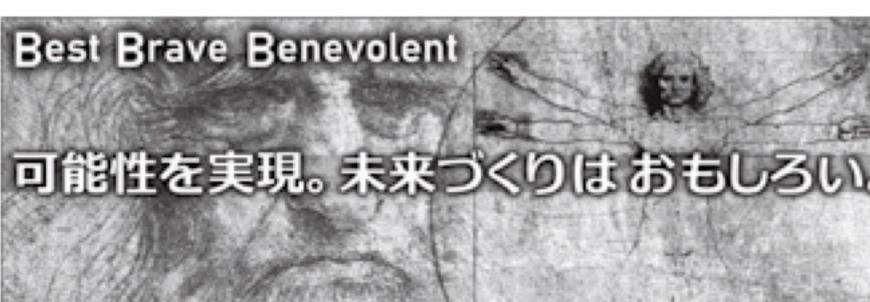
野弘、猪俣廣己、大滝史博、木下幸秀、肥沼孝明、安藤孝久、金井昭三、田丸勝秋、林正二郎、細江邦雄、佐藤治、篠宮秀雄、戸村正一、中村高久、籠谷雅博、荒井彰一、小口彰一、松下治正、今野健三、河合泰雄、勝田雅彦、渡辺義太、澤田結、長井英太郎、小島毅、石倉孝、西井和男、上床亦、田中聰行、工藤精一、保科和夫、吉田光男、松本美、小池孝、須田賢司、神山(田上)智子、武田和之、平井清美、伊東久江、岡田里美、西和、三枝安梨沙、真島正雄、岩花幸信、其田卓三、安達豊治、佐藤康守、戸矢雅道、永田忠史郎、中島隆、和田勝、澤木武雄、村尾隆、佐味貴義、亀井正弘、飯塚邦雄、佐々木正和、石川勝、嘉藤浩一、福島潤、杉浦俊和、多田洋一、松永華子、池田修一、清水和男、井上文雄、南伸宏、梶広幸、佐藤秀男、山田康幸、千明敏浩、小幡武司、山岸政彦、松原宏一、福田一郎、塩田真梨奈、富村小夏、楢沢知里、白木快倫、加々美杏子、赤木正民

寄附金額：3月〜7月 438,000円

## 訃報

前回の会報(179号)以降、本会宛て正式にご連絡がありました方々は、次の皆様です。「冥福をお祈り申し上げます。」

- 山田清二氏 S 16 M 卒 (不明)
- 佐野一義氏 S 17 F 卒 (R 4・6・16)
- 江端恒太郎氏 S 18 M 卒 (H 30・12・22)
- 坂江 清氏 S 20 P 卒 (R 3・5・16)
- 高橋雄作氏 S 21 M 卒 (R 2・10・4)
- 下山田信一郎氏 S 23 M 卒 (R 4・3・3)
- 小嶋一行氏 S 25 A 卒 (不明)
- 永井之弘氏 S 25 F 卒 (R 2・5・19)
- 安達豊治氏 S 27 P 卒 (R 2)
- 松永 孟氏 S 28 M 卒 (不明)
- 加藤仁一氏 S 28 M 卒 (R 3・2・10)



Best Brave Benevolent

可能性を実現。未来づくりはおもしろい。

レオナルド・ダ・ヴィンチ工房をめざして 医療器の開発に取り組んでいます。

**SOFKEN** 株式会社 ソフケン

3Bの贈り物

池田敬司氏	S 29 P 卒	(R 1・10・22)
勝矢重利氏	S 29 D 卒	(R 4・1・3)
高橋孝治氏	S 30 F 卒	(不明)
宝田満男氏	S 31 A 卒	(R 3・5)
高崎道夫氏	S 32 D 卒	(R 3・11・23)
幸山和弘氏	S 33 M 卒	(不明)
大河原良和氏	S 33 D 卒	(R 4・4・1)
佐野 勲氏	S 34 A 卒	(不明)
山下泰宏氏	S 34 F 卒	(R 4・5・1)
時本恵紹氏	S 34 P 卒	(不明)
山田喜守氏	S 34 D 卒	(R 4・3・31)
安藤 充氏	S 36 M 卒	(H 31・2・2)
石井清一氏	S 38 M 卒	(不明)
猪鼻貞子氏	S 44 D 卒	(R 4・5・16)
森戸清美氏	S 45 A 卒	(R 2・4・25)

## 母校だより コンクール等の入賞者・成績

### D科3年田中さん、都立病院の シンボルマークデザインに 採用される

東京都では、2022年7月1日に、高度・専門的医療を担ってきた都立病院（8病院）と地域医療を強みとしてきた公社病院（6病院・東京都がん検診センター）を一体として地方独立行政法人化し、地方独立行政法人東京都立病院機構を設立いたしました。それに伴い、都立のデザイン系専門高校を対象に募集された東京都立病院機構のシンボルマークデザインに、全日制3年D科田中さんの作品が数ある応募作品の中から採用され、6月16日、病院



都立病院機構  
シンボルマークデザイン  
採用作品

経営本部長より感謝状と記念品が贈られました。

田中さんは、このシンボルマークで、東京（Tokyo）の頭文字「t」と、病院の「十字マーク」に、両腕を広げる人の姿を重ねたイメージで、都立病院が安心のよりどころであることを表現しました。

また、安心と信頼を感じさせるブルーとグリーンをベースに、光を感じる色調で、未来へ向かって東京の医療を支えていくことも表現しました。

シンボルマークは本年7月1日以降、都立病院機構の広報等に使用されています。

### 2022年度「工芸祭」

2022年10月29日（土）・30日（日）の2日間、「steam punk」をテーマに工芸祭を母校に於いて開催予定です。

詳細は都立工芸高等学校HPにてご確認くださいませますようお願いいたします。

#### 全日制

コンクール等・入賞

##### ■ INTERIOR

- 第1回POLUS 木造住宅インターハイ  
奨励賞：1名

##### ■ DESIGN

- (冊子) 東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ  
表紙採用：1名、挿絵採用：1名
- 令和4年度学校要覧  
表紙採用：1名
- 都立病院機構 シンボルマークデザイン  
採用：1名

資格取得・検定合格

##### ■ MACHINE CRAFT

- ジュニアマイスター  
ゴールド：9名合格、シルバー：4名合格
- 計算技術検定  
1級：3名合格、3級：27名合格

##### ■ INTERIOR

- 色彩検定  
2級：1名合格
- 第88回 建築CAD検定試験  
2級：8名合格、3級：1名合格
- レタリング技能検定  
3級：31名合格

##### ■ DESIGN

- レタリング技能検定  
3級：33名合格

#### 定時制

資格取得・検定合格

##### ■ MACHNE CRAFT

- 第86回計算技術検定  
3級：2年6名合格
- 色彩検定  
2級：4年1名合格
- ICTプロフィシエンシー検定  
4級：2年1名合格

##### ■ INTERIOR

- 第50回レタリング技能検定  
3級：2年6名合格

### スマートフォンから会費の納入が 簡単にできるようになりました

届きました「払込取扱票」のお名前の下に印刷されたバーコードから会費・寄付の納入ができます。利用できるのはLINE Pay (ラインペイ)、PayPay (ペイペイ)、au PAY (エユーペイ)、PayB (ペイビー)です。アプリで読取ると写真の画面になり、確認して納入の終了です。

(画面に表示されるサラトは会費納入の代行業者です)

### 都立工芸同窓会 会報 こうがい No.180

発行者：梶広幸 編集：梶広幸 神山隆夫 磯野祥 伊東久江 デザイン：中村陽道 印刷所：大東印刷工業株式会社

発行：都立工芸同窓会 〒113-0033 文京区本郷1-3-9 都立工芸高等学校内 Tel.03-3814-8755(呼) 事務局：神山隆夫 磯野祥

プラスチック 金型製作	真空成形型 プレス抜型	圧空成形型 トムソン抜型
企画 デザイン	試作	本型製作
		成形仕上げ

**V.MOLD** バキュームモールド工業株式会社

本社・〒131-0033 東京都豊田区豊田5-23-11  
tel 03(3614)1556 fax 03(36)431559 http://www.vnmold.co.jp/  
埼玉工場・〒310-0831 埼玉県八潮市所後谷107-5  
tel 048(932)5440 fax 048(932)3960 e-mail  
caduser@vnmold.co.jp